

NTT DATA

NTTデータによる まちづくりコンサルティング支援のご紹介

法人コンサルティング&マーケティング事業部

まちづくりDXをリードするチームケイパビリティ

“まちとひと”を深く理解したまちづくりには、「デザイン」・「ビジネス」・「テクノロジー/データ」の複合的なアプローチが不可欠です。まちづくりコンサルティングでは、各領域のプロフェッショナルを有することで、まちづくりDXを円滑にリードすることが可能です。



サービスデザイナー

- ✓ サービスデザインアプローチにより、エリア/街区の生活者に対するインサイトの獲得から、コンセプトメイキング・サービスユースケース創出、ステークホルダコミュニケーション



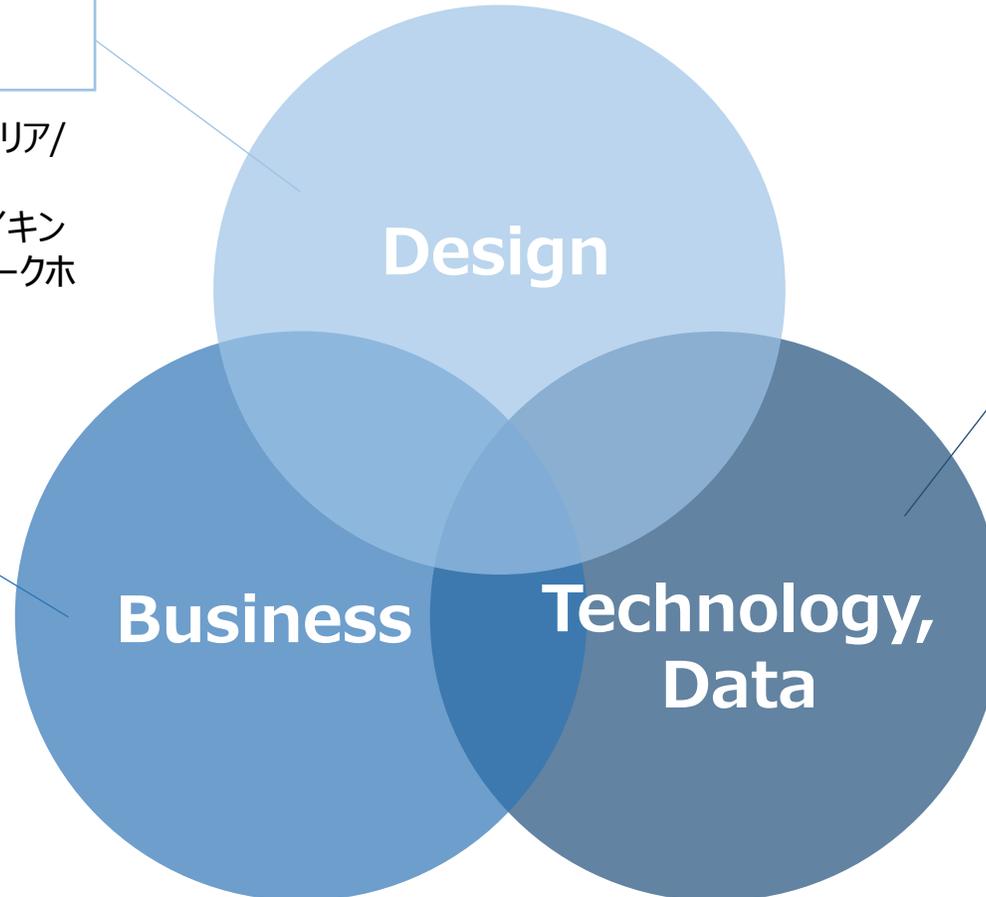
ビジネスコンサルタント

- ✓ エリア/街区の特徴を踏まえた戦略策定・収益モデル検討・ステークホルダマネジメント



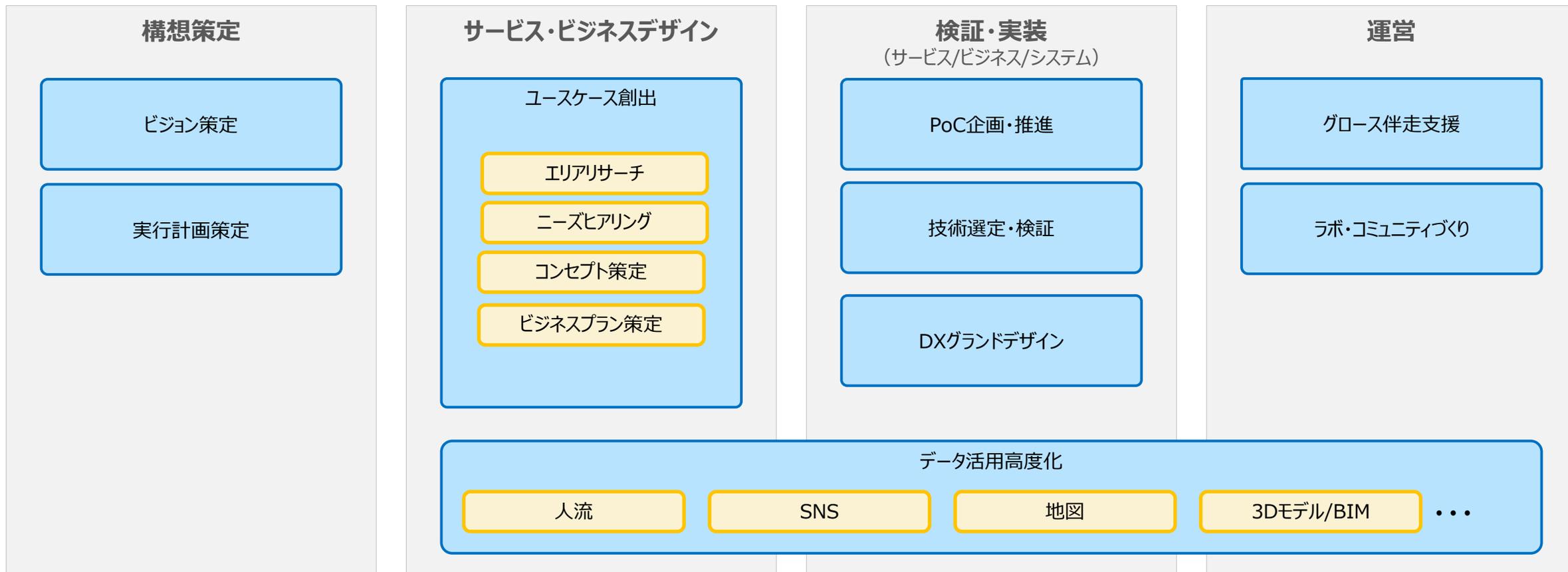
デジタルエンジニア/ データサイエンティスト

- ✓ アジャイルによるデジタルサービスのスピーディ・柔軟な実装
- ✓ 人流等のデータ活用による定量的なインサイト獲得と施策の評価
- ✓ 3Dデータ活用支援



オフリングメニュー

“ひと”中心としたアプローチを軸に、構想策定からサービス・ビジネス・システムのデザイン、グロース伴走までまちづくりのライフサイクルを一気通貫で支援可能なオフリングと各アセットを提供し、まちづくりを支援します。



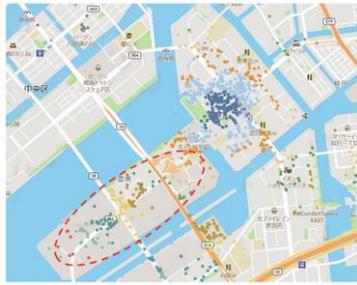
【オフリング紹介】豊洲スマートシティユースケース創出

本プロジェクトでは、豊洲来訪者のエリア回遊促進を目的としたユースケース創出として、施策検討～実行～評価までを実施。サービスデザインアプローチ（ユーザ調査）と人流データ分析にて課題を解明し、「生成AIによる来訪者属性に合わせた広告配信サービス」を創出した事例実績です。

豊洲スマートシティ推進協議会 東京都データ連携・活用促進プロジェクト支援

課題確認／施策検討

人流データ分析



- 特定のスポットに人が集中し、回遊していない
- エリアの東西を跨ぐ移動が少ない

インタビュー調査



有名なスポット以外に
行くところが思い浮かばない

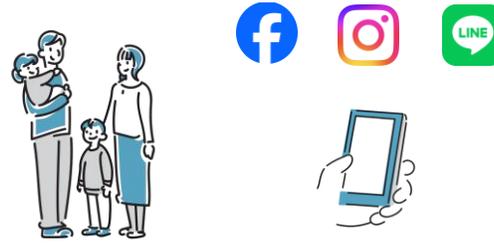
有名なスポットで長時間過ごせるし
むしろ疲れてしまう

西側に何があるのかよく知らない



施策実行

来訪きっかけの創出



- 人流データから豊洲に来訪しやすいペルソナを特定
- SNS広告等を活用し、ペルソナにマッチするユーザに対して西側エリアのイベント情報を配信

回遊きっかけの創出

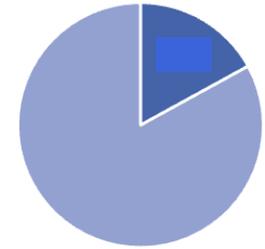


- イベント参加者におすすめの回遊先をプッシュ配信

施策評価

アンケート調査

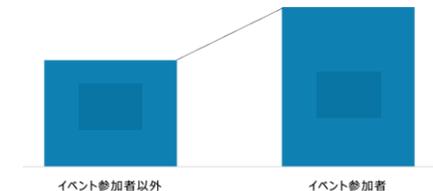
(イベント認知)



施策の効果で来訪しているユーザの割合を特定

人流データ分析

(回遊スポット数)



イベント参加による回遊スポット数の変化を把握

サービスデザインアプローチによるユースケース創出

まちの理解においては、エリア/街の特性・課題を把握するため、リサーチを軸に進めていきます。リサーチを元にそれぞれのエリアや街の行動を可視化し、機会領域の整理を行い、サービスの有効性を確認するため、素早く仮説検証を実施していきます。

プリリサーチ

リ
サ
ー
チ

- 公知情報・官報・レポート等を中心に、対象のエリア/街の地理・人口動態・目指す方向性・課題・既に実施されている取組等を、整理・分析

フィールドリサーチ(エスノグラフィ)

- 対象のエリア/街に実際に赴き、そこでの地形や建物、行き交う人や環境を確認、具体的に状況や課題を捉える

ステークホルダリサーチ

- 対象のエリア/街に関係する事業者/行政/団体等を、インタビュー等により活動目的/課題などを把握
- それぞれの関係性も捉え、俯瞰してステークホルダマップとして整理

ペルソナ

機
会
整
理

- インタビューにより深掘したユーザ像をもとにペルソナを作成。偏らないようにユーザを分析・分類した上で作成（SEPIA法の活用など）
- プロジェクトメンバー間で、ターゲットユーザに対するイメージの統一を図る目的

カスタマージャーニー分析

- インタビュー結果をもとにユーザの一連の街区・ビルでの行動を可視化
- ユーザーがどんなシーンで、どんなチャネルを通じてどのような行動をとり、どんな感情を抱くのかを整理する目的

ペイン・ゲイン分析

- ターゲットユーザーの一連の行動における困りごと（ペイン）やあったらいいなと思うこと（ゲイン）を、ユーザの視点で洗い出し
- これらを共通テーマ毎にグルーピングでモデル化して新サービスの機会領域を定義

サービスコンセプト

仮
説
検
証

- ユーザの声を踏まえ、提供すべき価値・サービスコンセプトを言語化
- 今後見込まれる機能やUI変更の指針にしていくものとする目的

ユーザストーリーボード※画面モック含む

- サービスを利用することでユーザのエリア/街での行動や体験がどのように変わるのかをストーリー仕立てで表現

見込みのあるアイデアは、簡易な形で実装し、PDCAサイクルを回しながら価値のあるサービスに育てていく

NTT DATA